

2015

Tokyo

開かれた都市「TOKYO」

<http://www.tokyo-jc.or.jp/>



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人 東京青年会議所

2015年度 組織案内

ACCESS



JCI Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人 東京青年会議所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-14-3 青年会議所会館 2F
TEL: 03-5276-6161 / FAX: 03-5276-6160
URL <http://www.tokyo-jc.or.jp/>

2-14-3 Hirakawachou, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-0093 Japan
TEL: +81-3-5276-6161 FAX: +81-3-5276-6160

2015年度 スローガン

開かれた都市
「TOKYO」

— 相互理解からつくる共生社会の実現 —

理事長挨拶

「私たちに、本当に社会を変革したいという一体感があるか。」

開かれた都市「TOKYO」、それは真に国際的な感覚を持った「都市」です。真に国際的とは、都市そのものではなく制度でもなく、住む「人」が、その場所が世界に対して開かれた都市であるという思いを共有し、国際的な感覚を持って行動しなければならないということです。相互に他を慮り、理解し、共に生きる人がいる街、真に国際的な都市「TOKYO」をつくっていかねばなりません。

1949年に東京青年会議所（東京JC）が設立されてから2015年で66年目を迎えます。これまでの歩みにおいて、社会は大きな変化を遂げました。それと同様に東京JCの組織も運動の形も変化を遂げてきましたが、変わらずに長年受け継がれているものもあります。それは、「新日本の再建は我々青年の仕事である」と謳われた設立趣意書に込められた思いであり、理念として「志を同じうする者相集い力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって」明るい豊かな社会の実現を目指しているということです。私は、「志を同じうする者」という言葉の前には、ある思いが隠されていると理解しています。それは、「生まれも育ちも仕事も違うが」ということです。すべての事情が違う人たちが同じ志を持って集っています。2015年は、「個」を尊重し、理解し、違いを「個性」として認め、良いところを活かして真の一体感をもって運動を展開する東京JCを目指します。一年間よろしくお願い致します。



公益社団法人 東京青年会議所
第66代理事長

中村 豪志

Nakamura Takeshi

東京青年会議所の理念とは

公益社団法人東京青年会議所（東京JC）は、“明るい豊かな社会”の実現を目指し、次代の担い手としての青年達（25歳～40歳）が集い様々な活動を行う団体です。日本の青年会議所は「奉仕」「修練」「友情」を活動の基本においており、同じ志を持つ青年達が力を合わせて活動することで、公共心を養い、互いを高めあいながら友情を深め、若さが持つ無限の可能性を引き出し、未来のリーダー育成にも取り組んでいます。青年会議所の活動分野は幅広く、市民・企業・行政・諸団体と連携することで、社会の発展に貢献するための活動をしており、ボランティアや行政改革などの社会的課題にも積極的に取り組んでいます。その行動理念と目標は「JC宣言」「綱領」として明確に表現しています。

2015年度 基本方針

意識変革から
大きな運動へ

私たちの運動はこの国の明日を切り開くための展開でなければなりません。社会システムの創造に市民参画を促し、主体者としての自覚、社会的義務や道徳的責任を認識してもらうとともに、他を慮る心の育成を見据えた個人の意識改革を目指した運動展開を行います。そして、その運動は1年限りで終わらせるのではなく、運動の向上につながるような進化を生み出します。未来へのつながりを意識し実践していくことで、運動をより大きなものにします。

世界を感じ
未来を描こう

インターネットの普及、交通手段の発展から日常生活やビジネスに於いてボーダレスが進んでいる今、国境や人種を越えた相互理解の心と青年経済人としての国際感覚を養い、アイデンティティでもある「思いやり」「利他の心」におもてなしのエッセンスを加え、日本のそして東京のファン作りに取り組んでいきます。またその過程で自分の可能性や事業の発展性に積極的に挑戦することで、国際舞台で活躍できる人材を育成します。

「おもてなし」のある
共生社会の実現へ

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定したことで、より多くの人々が東京を訪れることになります。日本の首都は東京であり、今そこに住む私たちが日本の玄関口「TOKYO」を訪れる方々に対し、「おもてなし」の気持ちを常に持って接する必要があります。その為に、他を思う「RESPECT」の気持ちを持ち、「個」を活かし共に成長する。自らがその灯火となり、率先して行動することにより、共生社会を実現します。

「個」の躍動から
組織の飛躍へ

様々な個性の集まりは、多様「SURPRISE」を生み出す事のできる「素財（そざい）」です。1つとして同じ物のない多くの素財が一体感を持ち、生き生きと歩み続ける事で魅力溢れる「組財（そざい）」となり、組織として大きな発展へと繋がります。素財を磨き合う中で互いを認め合う存在となり、未来に繋がる力強い組織を創り上げる事で、夢と魅力溢れる共生社会を実現します。

JC三原則

- 1 社会への奉仕
- 2 指導者訓練を基調とした修練
- 3 世界との友情

奉仕

修練

友情



東京青年会議所の歴史

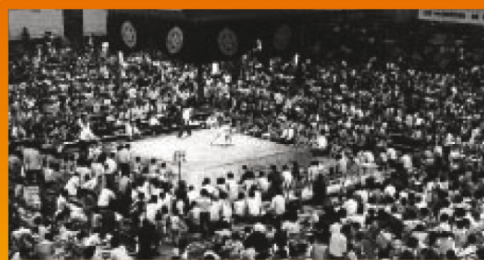
公益社団法人 東京青年会議所

- 1949** 三輪善兵衛氏による東京青年商工会議所設立
- 1950** 商工会議所法の制定により東京青年会議所と改称
- 1951** 日本青年会議所設立（設立時10青年会議所）
- 1958** 「手をあげて横断歩道を渡りましょう」の運動を拡大（小松川交通安全会議への継続）
- 1960** 社団法人の許可を受ける（民法第34条に規定された公益法人）
- 1964** 厚生大臣よりパラリンピック協力により感謝状受賞
- 1966** 山中湖肢体不自由児キャンプ訪問（フレンドシップキャンプに発展・継続）
- 1973** ラブリバー・フェスティバル清掃大会（二子玉川緑地公園）
- 1974** 中国青年訪日団交歓会→日中青年経済人文化交流へ発展・継続
- 1977** 第1回わんぱく相撲東京都大会
- 1988** 障害者テニス大会
- 1998** 公開討論会初開催
- 1999** さいたまけっつ 臍帯血に関わる医療材料に対する保険適用を求める講師支援（50周年）
- 2001** 都議・区長・参議院議員選挙の公開討論会
- 2003** Vision Tokyo 2003
- 2004** 東京JC学校講師派遣システムの運用開始
- 2005** 新宿ワールドキッズ、市民討論会
- 2006** 渋谷 SAFETY NET WORK 2006
- 2007** ハッシン! 環境ガバナンス 2007
- 2009** 60周年記念式典開催
- 2010** 公開討論会 2.0（WEB 選挙公開）
- 2011** 東京JCTV（動画配信）開始
- 2011** 公益社団法人格の取得
- 2012** 女が活すれば日本が輝く!
- 2012** 東日本大震災の復興を想い復興支援事業を続行
- 2013** 2020東京オリンピック・パラリンピック招致実現への協力
- 2014** わんぱく相撲モンゴル大会の開催、JCI世界会議にてアワード受賞



● 東京青年商工会議所設立

1949年東京青年会議所は、東京青年商工会議所として、48名の志ある青年達によって日本に先駆けて設立されました。



● 第1回わんぱく相撲東京都大会

青少年の健全育成を目指した「わんぱく相撲」は、東京23区に拡がり、この時初めての東京都大会が開催されました。本年、両国国技館において31回目の全国大会が開催されます。



● 今考える平和の意味とこの国のあり方

安全保障問題の第一人者である、民主党の長島昭久、自民党の石破茂両氏をお招きし、沖縄のJCメンバーや学生とも共同して、平和の意味や国を守るということについて考えるフォーラム、パネルディスカッションを実施しました。この事業を通じて社会に一石を投じた。



● 3・11を心に刻む「次世代の想像のために」

甚大な被害を受けながらも、時が経てば風化してしまうであろう大震災を後世に伝えること、そして被災者の方々に伝えたいという思いで、フォーラムを行いました。

代表的な活動

わんぱく相撲大会

「わんぱく相撲」は遊び場の少ない東京の子供達にスポーツの機会をより多く与え、心身の鍛錬と健康の増進を目的として、1977年の第1回東京都大会から23区全域の運動、そして、全国での運動として展開しています。



小松川運動

「手をあげて横断歩道を渡りましょう」という有名な標語は、1958年の東京JC小松川交通安全会議から全国に発信され、急速に拡がりをみせ、全国的な交通安全運動に発展しました。



公開討論会

衆議院・参議院議員選挙、知事選挙、区長選挙などに先立って、これらの選挙に立候補を予定している方々に選挙期間前に参加していただき、国政、都政、区政の抱える問題点についての政策や具体的な解決策などを聞く会です。



復興支援

2011年3月11日、東日本大震災に伴う津波や余震により甚大な被害がもたらされました。我々は one for all, all for one の精神に基づき、次世代を考える事が日本の最大の資源である人を創り、更には国創りへと発展すると信じ努力惜みず行動し続けて参ります。



緑の泉

1969年9月、皇居東御苑に東京青年会議所創立20周年を記念し、記念造形物「緑の泉」の除幕通水式が行われました。現在では都民や観光客の憩いの泉として親しまれております。



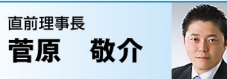
JC出身の著名人

麻生 太郎	飯塚JC/第92代内閣総理大臣	平 将明	東京JC/衆議院議員
石川 六郎	東京JC/鹿島建設元名誉会長、日本商工会議所・東京商工会議所名誉会頭、工学博士（東京大学）	堤 清二	東京JC/セゾングループ創業者、小説家
石原 伸晃	東京JC/衆議院議員	鳥井 信一郎	大阪JC/三代目サントリー会長
九代目 市川 團蔵	東京JC/歌舞伎役者、日本舞踊柏木流十代目宗家	中曽根 康弘	高崎JC/第71代―第73代内閣総理大臣、世界平和研究所会長、拓殖大学名誉総長、東アジア共同体評議会元会長、従四位、大勲位菊花大綬章
伊藤 次郎左衛門	名古屋JC/伊藤財閥第15代当主、名古屋商工会議所初代会頭	服部 禮次郎	東京JC/セイコーホールディングス元名誉会長、日本陶磁協会第7代理事長、一日本JC・創立メンバー（日本JC第4代会頭、東京JC第5代理事長）
稲尾 和久	福岡JC/元プロ野球選手、野球解説者	鳩山 由紀夫	室蘭JC/第93代内閣総理大臣
岩波 雄二郎	東京JC/岩波書店元会長（『広辞苑』を刊行）、一日本JC・創立メンバー	藤原 雄	備前JC/陶芸家、人間国宝
牛尾 治朗	東京JC/ウシオ電機創業者	堀越 善雄	東京JC/丸文元名誉会長、大英帝国勲章（OBE）、一日本JC・創立メンバー（日本JC第3代会頭、東京JC第4代理事長）
小淵 恵三	群馬JC/第84代内閣総理大臣、正二位、大勲位菊花大綬章	三輪 善兵衛	東京JC/ミツワ本舗元会長、一日本JC・創立メンバー（日本JC第6代会頭、東京JC初代理事長）
菅 直人	東京JC/第94代内閣総理大臣	森 稔	東京JC/森ビル元会長、大英帝国勲章（KBE）、従四位、旭日重光章
黒川 光朝	東京JC/虎屋第16代当主、一日本JC・創立メンバー（日本JC初代会頭、東京JC第2代理事長）	森 善朗	小松JC/第85代―第86代内閣総理大臣
小泉 純一郎	横須賀JC/第87代―第89代内閣総理大臣	梁瀬 次郎	東京JC/ヤナセ元会長、2004年米国自動車殿堂入り
鴻池 祥肇	尼崎JC/参議院議員	山本 恵造	東京JC/山本海苔店元会長、一日本JC・創立メンバー（東京JC第6代理事長）
四代目 坂田 藤十郎	東京JC/歌舞伎役者、人間国宝、紫綬褒章、文化勲章		
佐治 敬三	大阪JC/二代目サントリー会長		
千 玄室	京都JC/茶道裏千家15代家元、国際ロータリー日本財団会長、国連ユネスコ親善大使、藍綬褒章、紫綬褒章、旭日重光章、文化勲章、レジオンドヌール勲章オフィシエ章（フランス共和国）、ディレクナポーン章（タイ王国）		

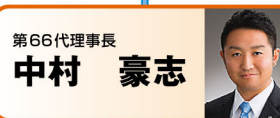
2015年度 組織図

総会

監事

会計監査人
(会計監査法人)

理事会



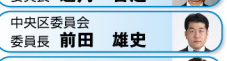
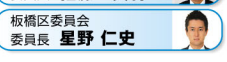
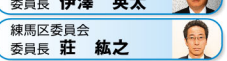
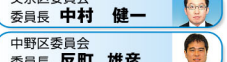
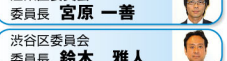
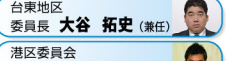
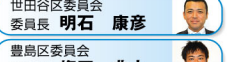
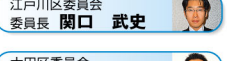
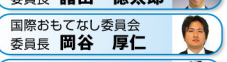
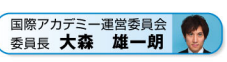
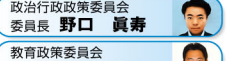
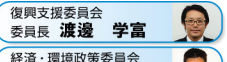
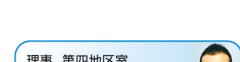
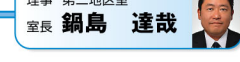
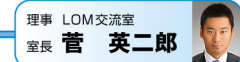
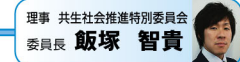
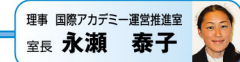
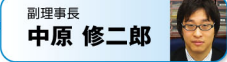
中長期ビジョン策定会議



顧問



派遣役員



東京青年会議所の代表的な活動

公益社団法人東京青年会議所
2015年度 委員会等の機能と役割

公益社団法人東京青年会議所の所属会員は、例会・全体事業、ならびに所属委員会に積極的な参加をし、率先して協力を行うことが役割です。この大前提のもと、所属する各委員会においては、下記の機能と役割に基づいて年間の運動を行います。

<メンバー・各組織共通>

1. 例会・全体事業への参加義務と積極的な協力
2. 会員拡大及び会員交流促進に向けた積極的な取り組み
3. 会員の研修へ積極的な取り組み
4. 各種媒体を積極的に活用した東京JCブランディングの強化
5. JCI・日本JC・関東地区協議会・東京ブロック協議会の各種大会等への積極的な参加と協力
6. 災害復興支援活動・防災減災活動への積極的な取り組み
7. 開かれた国際都市東京という意識強化
8. 国際アカデミー開催に向けての連携・協力
9. プランニングシートの作成・更新・確認と月次提出
10. 委員会同士の横断的な協力

<23地区> 地区委員長23名

1. 各地区自治体及び他団体との連携
2. 地区事業の主管または構築
3. 会員拡大活動の実践と指導・協力
4. 会員研修活動への参加と協力
5. 基本資料に沿った委員会運営
6. わんぱく相撲地区大会の主管または名称使用協力
7. 各種褒賞申請に対する協力

【第1地区室】 理事室長1名

1. 会員拡大活動の指導
2. 会員研修活動への連携と協力
3. 基本資料に沿った委員会運営の指導
4. 各地区事業活動への実践指導と指導・協力
5. 各地区名称使用への実践指導と指導・協力
6. 例会及び全体事業への参加人数向上の戦略立案と報告
7. 地区室会議の運営開催
8. 地区議案の審査
9. 国際アカデミーに対する各地区の指導・協力

<会員拡大会議> 議長(第1地区室長兼任)1名

1. 会員拡大の戦略立案と実践・報告
2. 各地区委員会との新入会員候補者情報の共有
3. 会員研修委員会との連携と協力
4. 新入会員研修との連携と協力
5. ガイダンスメンバーセミナーへの協力
6. 総務委員会との連携と協力

【第2地区室】 理事室長1名

1. 会員研修活動の指導
2. 会員拡大活動への連携と協力
3. 基本資料に沿った委員会運営の指導
4. 各地区事業活動への実践指導と指導・協力
5. 各地区名称使用への実践指導と指導・協力
6. 例会及び全体事業への参加人数向上の戦略立案と報告
7. 地区室会議の運営開催
8. 地区議案の審査
9. 国際アカデミーに対する各地区の指導・協力

【会員研修特別委員会】 理事委員長(第2地区室長兼任)1名

1. 【事業】11月例会の主管
2. 会員研修の戦略立案と実践・報告
3. 新入会員研修の戦略立案と実践・報告
4. ガイダンスメンバーセミナーの開催
5. 会員拡大活動との連携と協力
6. 総務委員会との連携・協力

【第3～6地区室】 理事室長1名

1. 各地区会員拡大活動への実践指導と連携・協力
2. 会員研修活動への実践指導と指導・協力
3. 基本資料に沿った委員会運営の指導
4. 各地区事業活動への実践指導と指導・協力
5. 各地区名称使用への実践指導と指導・協力
6. 例会及び全体事業への参加人数向上の戦略立案と報告
7. 地区室会議の運営開催
8. 地区議案の審査
9. 国際アカデミーに対する各地区の指導・協力

【政治行政政策室】 理事室長1名

1. 東京JC 各政策の方向性の確認と年間を通じた密接な連携・協力の促進
2. 政策分野における東京JCの積極的な連携と協力
3. 各政党・行政機関・メディア・関係団体等との連携の実施
4. 2月例会への協力(主管: 教育政策委員会、副主管: 政治行政政策委員会)
5. 10月例会への協力(主管: 政治行政政策委員会、副主管: 教育政策委員会)
6. 各地区公開討論会計画書・予算書・報告書・決算書の協議・審査
7. 各地区公開討論会名称使用申請書・報告書の協議・審査
8. 経済環境・復興支援室との密接な連携

<政治行政政策委員会> 委員長1名

1. 【事業】10月例会の主管
2. 2月例会の副主管(主管: 教育政策委員会)
3. 若年層の政治参画を目指すための手法の立案と実践
4. 各地区委員会主催の公開討論会の支援
5. 日本JCと連携し、公開討論会(みらい)への参加
6. 東京都選挙管理委員会との連携
7. 各地区公開討論会計画書・予算書・報告書・決算書の協議・審査への協力
8. 各地区公開討論会名称使用申請書・報告書の協議・審査への協力
9. 東京JC 各政策の方向性の確認と年間を通じた密接な連携・協力

<教育政策委員会> 委員長1名

1. 【事業】2月例会の主管
2. 10月例会の副主管(主管: 政治行政政策委員会)
3. 若年層の政治参画を目指すための手法の立案と実践
4. 東京都及び青年会議所が行ってきた教育政策に対する検証及び政策立案
5. 乳幼児・青少年期から生涯にわたる道徳教育の研究
6. 「共生」と「共育」をテーマに考えた運動展開
7. 歴史教科書における近現代史の研究
8. 東京JC 各政策の方向性の確認と年間を通じた密接な連携・協力

【経済環境・復興支援政策室】 理事室長1名

1. 東京JC 各政策の方向性の確認と年間を通じた密接な連携・協力の促進
2. 政策分野における東京JC及び特別区行政との連携
3. 各政党・行政機関・メディア・関係団体等との連携の実施
4. 3月例会への協力
5. 6月例会への協力
6. 各地区公開討論会計画書・予算書・報告書・決算書の協議・審査への協力
7. 各地区公開討論会名称使用申請書・報告書の協議・審査への協力
8. 政治教育推進室との密接な連携

<経済・環境政策委員会> 委員長1名

1. 【事業】6月例会の主管
2. 3月例会の副主管(主管: 復興支援委員会)
3. 経済と環境に関する研究
4. 持続可能な社会へ向けて関係団体との協力体制の構築
5. サステイナブルシティ新東京を見据えた運動展開
6. 東京都の環境政策に対する検証および政策立案
7. 東京JC 各政策の方向性の確認と年間を通じた密接な連携・協力

<復興支援委員会> 委員長1名

1. 【事業】3月例会の主管
2. 6月例会の副主管(主管: 経済・環境政策委員会)
3. 日本JC・関東地区協議会・東京ブロック協議会・各地委員会と連携した被災者への支援
4. 被災者・避難者に対するヒアリング及び支援
5. 被災者・避難者に対するヒアリング及び支援
6. 年間を通じたふくしま復興復興への協力
7. 桜プロジェクトへの協力
8. 大災害に備えた防災減災への取り組み
9. 東京JC 各政策の方向性の確認と年間を通じた密接な連携・協力

【国際アカデミー運営推進室】 理事室長1名

1. 2014年度の開催地LOM(半田JC)と日本JC 国際アカデミー委員会との連携
2. 日本JC 国際アカデミー委員会出向者との情報共有及び日本JC、JCIとの協力関係の強化
3. 東京都および関連団体との連携
4. 国際アカデミー運営委員会議案の審査
5. 5月例会への協力
6. 7月例会への協力
7. 12月例会への協力
8. 例会特別委員会との連携

<国際アカデミー運営委員会> 委員長1名

1. 【事業】5月例会の主管
2. 【事業】7月例会の主管
3. 12月例会の副主管(主管: 例会特別委員会)
4. 対内外向けに国際アカデミーPRの作成とメンバーへの意識醸成
5. 2014年度の開催地LOM(半田JC)と日本JC 国際アカデミー委員会との連携
6. 日本JC 国際アカデミー委員会出向者との情報共有及び日本JC、JCIとの協力関係の強化
7. 例会特別委員会との連携

【例会特別委員会】 理事委員長1名

1. 【事業】1月例会の主管
2. 【事業】12月例会の主管
3. 例会及び全体事業の的確かつ効果的な運営の実施
4. 例会及び全体事業の事業計画書および報告書の審査
5. 例会事前登録の取りまとめおよびメンバーへの例会参加促進
6. 国際アカデミー運営ならびに国際アカデミー運営委員会との連携
7. 全体懇親会の設置

【LOM交流室】 理事室長1名

1. 日本JC・関東地区協議会・東京ブロック協議会・各地委員会等との対応窓口
2. JCI・各国NOM・LOM・国際機関等との対応窓口
3. 国内・国際おもてなし委員会への積極的な連携と協力
4. わんぱく相撲委員会への積極的な連携と協力
5. 総務室への積極的な連携と協力
6. 海外NOM・LOMとの連携によるわんぱく相撲精神の積極的な発信協力
7. わんぱく相撲地区大会の計画書・予算書・報告書・決算書の協議・審査
8. わんぱく相撲地区大会の名称使用申請書・報告書の協議・審査

<国内おもてなし委員会> 委員長1名

1. 国際おもてなし委員会との積極的な連携と協力
2. LOM 交流室及びわんぱく相撲委員会との積極的な連携と協力
3. 国内より「TOKYO」にお越しのメンバーへのおもてなし業務
4. 国内諸会議・大会における渉外業務及び役員の手帳予定表作成
5. 各種諸会議東京開催に関する当地委員会との連携及び渉外業務
6. JCI・日本JC・関東地区協議会・東京ブロック協議会が開催する諸会議・大会の開催趣旨・情報等のメンバーへの発信
7. 海外NOM・LOM等における周年事業等の情報収集、及び渉外業務
8. 出向者支援セミナーの開催支援

<国際おもてなし委員会> 委員長1名

1. 国内おもてなし委員会との積極的な連携と協力
2. LOM 交流室及びわんぱく相撲委員会との積極的な連携と協力
3. 海外より「TOKYO」にお越しのメンバーへのおもてなし業務
4. 国内諸会議・大会における渉外業務及び役員の手帳予定表作成
5. アジア太平洋国際都市会議(APIC)の積極的な参加と協力
6. ASPAC・世界会議ジャパンの東京ブースの設置・運営
7. JCIが開催する諸会議・大会の開催趣旨・情報等のメンバーへの発信
8. 海外のLOM等における周年事業等の情報収集、及び渉外業務
9. 国際アカデミー運営委員会との積極的な連携と協力
10. 各国NOM・LOM・国際機関・他団体との連携
11. JCIへのアワードの申請窓口
12. JCIへのアワード提出書類作成への協力
13. 日中間関係事業への参加及び協力

<わんぱく相撲委員会> 委員長1名

1. 【事業】8月例会(第31回わんぱく相撲全国大会)の主管
2. わんぱく相撲全般に関する運営改革の具体的な検討および放映手段の検討
3. 第27回わんぱく相撲東京大会の開催支援
4. 海外NOM・LOM との連携によるわんぱく相撲精神の積極的な発信協力
5. わんぱく相撲地区大会の開催支援
6. わんぱく相撲海外場所の開催支援
7. LOM交流室及び国内・国際おもてなし委員会との積極的な連携と協力

【共生社会推進特別委員会】 理事委員長1名

1. 【事業】4月例会主管(副主管: なでしこ会議)
2. 【事業】9月例会主管(副主管: なでしこ会議)
3. なでしこ会議との積極的な連携と協力
4. 共生社会実現に向けての計画と実施
5. 共生社会実現に向けての実践的な提言の作成と発信
6. 柔軟な日程・時間帯設定による委員会開催

<なでしこ会議> 議長1名

1. 4月例会の副主管(主管: 共生社会推進特別委員会)
2. 9月例会の副主管(主管: 共生社会推進特別委員会)
3. 入会審査の開催支援
4. 広報誌の企画および内容作成と発行
5. 運動発信委員会による広報誌発行に対する積極的な連携と協力
6. 運動発信委員会による組織案内書・アニュアルレポート発行への積極的な連携と協力
7. 会員拡大に向けたシナリオ・他団体との連携・PR
8. 各種事業における女性メンバーの活躍推進
9. 女性メンバー拡大・研修のための各種勉強会の実施及び各委員会との連携
10. JCI NothingButNets 等・JCI・国連協働運動の普及と推進

【総務室】 理事室長1名

1. 諸会議における運営・管理もしくは補助
2. 国内における各種大会での東京JCの開催
3. 国外における各種大会での東京JCの開催の運営支援
4. 諸事業及び各種勉強会のメンバー向け情報提供
5. 契約・規律・諸規則および法令遵守のための情報提供
6. 公職出向者情報の管理
7. スタッフセミナーの開催
8. 趣味の会・友好会統括会議の開催
9. 東京JCオンラインフォーラム(OLF)のあり方の検討
10. JCI・日本JC等へのアワードのとりまとめ
11. 社会貢献基金の運用
12. 国際会議におけるLOM交流室への積極的な協力
13. 費用対効果を最大限に果たす広報費の予算執行
14. 各種ひな形の作成

<運動発信委員会> 委員長1名

1. 費用対効果を最大限に果たす広報費の予算作成
2. 東京JCホームページの制作・管理運用並びに各委員会ホームページとの連携
3. SNSにおける東京JC公式ページの管理運用
4. 電子メディアを用いた例会・事業などの積極的な広報・動員活動
5. 電子メディアを用いた諸事業及び各種勉強会のメンバー向け情報提供
6. メンバーの電子メディアを用いた情報発信活動に対するサポート
7. 各情報媒体取り扱いのガイドラインの作成及び管理
8. 国内おもてなし委員会、国際おもてなし委員会との連携
9. 組織案内書・アニュアルレポートの企画および内容作成と発行
10. なでしこ会議による広報誌企画および内容作成と発行への積極的な連携と協力
11. 広報誌の企画および内容作成と発行

<総務委員会> 委員長1名

1. 総会・理事会等諸会議の運営並びに記録の保存管理
2. 日本JC等(JCI除く)へのアワードの申請窓口
3. 東京JCアワード(褒賞)の申請窓口
4. 会員及び会員情報の管理
5. 入会候補者情報の管理
6. 入会審査の開催
7. 会員拡大活動への連携と協力
8. 会員研修特別委員会への連携と協力
9. 基本資料・会員名簿の発行
10. 定款・諸規則の検討
11. 総務室関係行事への運営協力
12. 東京JCの活動情報・資料等の電子化
13. 東京JCオンラインフォーラム(OLF)の管理運用
14. 全国大会の東京ブースの設置・運営
15. 各種大会登録キットの受け渡し管理
16. 総務室への協力

【財務特別委員会】 理事委員長1名

1. 各種ひな形の作成支援
2. 事業計画書・予算書・報告書・決算書の予備審査・審査
3. 収益事業に関する審査及び実施
4. 会計全般に関する執行状況の把握及び管理
5. 会計幹事会の実施
6. コンプライアンス関連書類の審査
7. 勉強会予算書・決算書の審査
8. 中間監査への協力

世界に広がる青年会議所の組織力

東京青年会議所（東京JC）は東京23区を活動地域とした地区青年会議所（LOM:Local Organization Member）の1つです。
全国には697の地域にLOMがあり、それらの連携・連絡調整機関として47都道府県ごとにブロック協議会が、ブロックの連携・連絡調整機関として地方ごとに10の地区協議会が、そして日本の国家青年会議所として日本青年会議所が組織されています。
ブロック協議会、地区協議会、日本青年会議所は各LOMから出向者で構成されています。

公益社団法人
日本青年会議所（日本JC）

日本青年会議所は、社会の若きリーダーを対象とし本部を米国におくJunior Chamber International（JCI）に加盟しています。JCIは世界119の国と地域で構成されており、日本JCはNational Organization Member（NOM）の一つとして約3万4千人の会員が活動しております。

公益社団法人
日本青年会議所 関東地区協議会

関東地区協議会は、東京・神奈川・埼玉・千葉・群馬・茨城・栃木・山梨の1都7県から構成されています。
日本青年会議所と結んで、都道府県単位では扱いきれない広域な運動展開を目指し活動しております。

公益社団法人
日本青年会議所
関東地区東京ブロック協議会

東京ブロック協議会は、東京都に存在する24LOMによって構成されており、各LOM間の効果的な交流と連携した運動展開を目指しております。

公益社団法人
東京青年会議所（東京JC）

東京JCは、1949年戦後の混沌としている東京で日本に先駆けて設立されました。その青年としての志は全国に飛び火し、697ある日本の青年会議所に繋がっています。現在、東京JCには約600名の会員が所属し、首都LOMという特色を活かして独自に世界の青年会議所とも交流を深めつつ、広い視野を持った運動を続けております。

※LOMとは：Local Organization Member（ロム）と呼ばれる各地会員会議所のことです。



JC出身の世界の著名人

アルベール2世 モナコ公国モナコ大公

コフィー・アナン ガーナ共和国/元国際連合事務総長

ジャック・ルネ・シラク フランス/元大統領、元アンドラ公国共同元首

ジョセフ・エストラダ フィリピン/元大統領

ジョン・F・ケネディ アメリカ合衆国/元大統領

チャールズ・リンドバーグ アメリカ合衆国/飛行家

トーマス・S・モナハン アメリカ合衆国/ドミノビザ創業者

ハビエル・ペレス・デ・クエサル ベルー/元国際連合事務総長

ハワード・ヒューズ アメリカ合衆国/大富豪、実業家、映画製作者、飛行家

ビル・クリントン アメリカ合衆国/元大統領

ビル・ゲイツ アメリカ合衆国/マイクロソフト創業者

ラリー・バード アメリカ合衆国/元NBAプロバスケットボール選手

ラリー・ホームズ アメリカ合衆国/元プロボクシングヘビー級チャンピオン

リチャード・ニクソン アメリカ合衆国/元大統領

ロナルド・レーガン アメリカ合衆国/元大統領

ご入会の流れ

入会申込書類提出期間
(入会審査1週間前まで)

入会申込書受理確認後
入会審査案内

書類提出

毎月行われる例会への出席

入会審査



入会ページ/入会フォーム



<http://www.tokyo-jc.or.jp/2015/join/>

ようこそ東京JCへ

JCI Junior Chamber International Tokyo

各委員会へ出席



ガイダンスメンバー セミナーの完了
(新人入会者)

Q&A

Q.1 JC（青年会議所）とはどんな組織ですか？

A JCとは40歳までの青年経済人（東京JCでは25歳から入会可能です。）で構成された団体です。青年だからこそ持ち得る情熱で、行政ではなかなか取り組みづらい切り口から社会を変革しようとする運動を展開しています。私たちは、今そこにある問題に対処療法で対応するのではなく、その問題を根本的に解決した未来を作り上げることを目指しています。このことを例えると、おながすにいる人に魚（食べ物）を与えるのではなく、魚（食べ物）の釣り方を教えることとJCではよく言われています。

JC三原則（P3参照）は、「奉仕・修練・友情」です。奉仕とは「社会への奉仕」、「volunteer」ではなく「service」を意味しています。サービスとは、辞書で「人のために力を尽くすこと」とあります。私たちの考える社会奉仕活動とは、チャリティイベントのように一過性に盛り上がって終わるのではなく、その場所で生きている、生かされている

- ・人の意識を向上させ
- ・人のつながりを強化し
- ・人の意識と行動を変える

ことを目的とし、そのために行動することと考えています。

Q.2 JCに入会するメリットはなんですか？

A JCにはJCI（国際青年会議所）の先駆けとなる組織が発足して以来100年の歴史、そして東京JCが発足して以来66年の歴史の中で諸先輩方が作り上げられてきた基盤を用いた活動を行うことができ、更には日本全国および世界に広がるつながりを作る機会を得ることができます。一人でできることは限られていても、東京青年会議所600人、全国各地の青年会議所697LOM メンバー4万人、そして国際青年会議所119NOM メンバー17万人（2014年11月現在）と一緒に活動できれば多くの活動を行うことができます。そのため、JCメンバーとともに活動は社会に対して大きな影響を与えることができるのです。

また、JCには多種多様な業種のメンバーがいます。JCの活動はビジネスではないので利害関係を越えた付き合いがメンバー同士ででき、また、普段は接することがない業界の人とも知り合えます。運動を共にした同世代の仲間とのつながりは、一生の宝になります。

Q.3 JC活動を通じて何が得られるのでしょうか？

A あなたがこれまで経験したことのない役割を担うことができます。JCメンバーになれば仕事では行わないような役割を担当する機会も多く、その役割を通じてあなたがこれまで鍛えてこなかったスキルが身に付きます。JCメンバーになればあなたのスキルは飛躍的に向上します。スキルの向上は仕事だけでなく、あなたの人生をも豊かにしてくれます。

● 世界に広がる絆が手に入ります！

どの団体にもないJCならではの魅力、それはJCメンバー間の「強固な絆」です。同じ問題に対してともに取り組み、汗を流し時間を共有したからこそ得られる絆があります。異業種交流に行って築く当たり障りのない関係とは絆の深さが違います。JCメンバーになれば、必ずや一生を共にする友人に出会えます。

● タイムマネジメント能力が向上します！

JC活動は本気でやればやるほど時間が必要になります。もっとも、私たちは青年経済人であり、JC活動以外にも仕事や家庭もあり、それらを疎かにすることはできません。限られた時間の中で仕事も家庭も両立させつつ、更にはJC活動も行うとなるといかに時間を調整するか、また、どのように仕事や家庭での役割を果たすかを見直す機会に直面することもあります。その中であなたのタイムマネジメント能力は飛躍的に向上し、仕事や家庭での役割の果たし方も向上します。

● 青年経済人がチームワークを組んで同じことに取り組むからこそ産まれる化学反応を味わえます！

業種も経歴も異なるメンバー同士がチームを組んで物事にあたるときに生まれる化学反応もまた他では味わえないJCならではの魅力です。

● 同じ悩みを共有できます

メンバーには、仕事においては重要な役割を担っているものが多いです。そのため、JCメンバーになれば同じ立場・環境にある人に多く出会うことができ、同じ悩みを共有することができることも、JCメンバーがどのようにその悩みを解決したのかを聞くこともできます。

Q.4 JC活動はビジネスにつながるのでしょうか？

A JCは会員間のビジネスを目的とした団体ではありません。そのため、JCに入って即ビジネスにつながるということはないかも知れません。しかし、JC活動を通じてあなたはさまざまな業種のプロであるメンバーと親交を深めていくことになります。一人でも多くのメンバーと一生続く「継続的なつながりと友情」を築くことは、あなたの今後のビジネスにとって計り知れない財産となります。また、JC活動を通じてあなたは、ビジネススキルをアップさせることができるだけでなく人間としての幅も広げることができます。あなたが成長することは中長期的にあなたのビジネスを成長させることにつながります。さらに、関連団体には日本青年会議所に連なる業種別部会もあり、こちらは年齢制限もなく、OB・OG・現役同士での交流が盛んです。この業種別部会に入会できるチャンスも、JCならではのメリットと言えるでしょう。

Q.5 具体的にはどのような活動を行うのでしょうか？

A JCメンバーになると、主には、毎月開催される例会や全体事業、自分の所属する委員会に出席することになります。毎年、様々な活動を行いますので、自分で選択した活動に関わることができます。また、JCは単年度制を採用しているので、毎年自分のやりたいことを選択できるようになっています。あなたが日常生活、社会生活の中で「何かやりたい」と思ったときに、東京JCならあなたに対し多岐にわたる活動の場を提供することができます。またあなたが活動の範囲に制限はありません。各省庁や東京都等の公的機関との連携もあります。志のある方、自らの目的を持った方にとって、無限の可能性を提供する舞台となります。

Q.6 どれくらい忙しくなるのでしょうか？

A 毎月1回の例会があり、可能な限り出席していただきたい行事です。月例会は、青年経済人として今キャッチしておくべき旬な情報やスキルを習得できる場であり、メンバー600名が一室に会するため全体の懇親の場ともなっています。また、登録した委員会の委員会開催が月1回あり、例会と共にこの2日は出席が必須となっています。その他登録した委員会での様々な会がありますが、これらは任意となります。JC活動はやればやるだけ得られるものがありますので、最初のうちはできるだけ多くの活動に参加してJCで自分がどのようなことがしたいか、またできるのかを実際に知ることをお勧めします。

Q.7 毎回の出席はできないかもしれませんが、大丈夫ですか？

A 大丈夫です。仕事、家庭など人それぞれ立場が異なりますので、活動の仕方は各メンバーに任されています。JCは業種の異なる人たちが同じ志を持って集まっています。2015年は、「個」を尊重し、理解し、違いを「個性」として認め、良いところを活かして真の一体感をもって運動を展開する東京JCを目指しています。

Q.8 男女比はどれくらいですか？

A 東京JCの男女比は約4:1ぐらいです。全国の青年会議所でも最も多い100名近い女性が日々活躍しています。その中には、結婚して、出産したばかりの方や、小さいお子さんがいる方も多数います。また、男女分けへだてなく、活躍の場を提供されています。2015年は副理事長1名、理事2名、委員長・議長2名の女性が理事会構成メンバーに加わっており、また、公益社団法人日本青年会議所にも2名の議長を派遣するなど、活発に女性が活躍しています。

Q.9 入会に何か条件はありますか？

A 品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できます。ただ、年齢、職場、住居などの条件があります。入会希望の方は東京23区に在住または在勤、かつ入会申込書の提出時に満25歳以上38歳未満であることが条件になります。入会希望者は紹介者（現役メンバー）によって入会が承認されるまでの様々なフォローをしてもらうことになっています。自身の周りに紹介者がいない方は、事務局にてご紹介いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

2015年度の主要予定

例会		主管	入会審査	GM セミナー
1月	13 (火)	例会特別委員会		
2月	25 (水)	教育政策委員会	19 (木)	
3月	18 (水)	復興支援委員会		17 (火)
4月	14 (火)	共生社会推進特別委員会		
5月	4月 29 (水)	国際アカデミー運営委員会	19 (火)	
6月	17 (水)	経済・環境政策委員会		16 (火)
7月	未定	国際アカデミー運営委員会		
8月	2 (日)	わんぱく相撲委員会	26 (水)	
9月	3 (木)	共生社会推進特別委員会		14 (月)
10月	16 (金)	政治行政政策委員会	21 (水)	
11月	17 (火)	会員研修特別委員会		18 (水)
12月	未定	例会特別委員会		

※GMセミナーはガイダンスメンバーセミナーの略称です

JCI 諸会議

6月	11 (木) ~ 14 (日)	ASPAC/コタキパナル
11月	3 (火) ~ 8 (日)	JCI世界会議/金沢

アカウント情報

下記のアカウント・URLから、東京JCの情報を発信しています。

Twitter jciTokyo

facebook <http://www.facebook.com/jcitokyo>

YouTube <http://www.youtube.com/user/jciTokyo>

Ustream <http://www.ustream.tv/channel/tokyojc-tv>

日本JC主要事業

1月	22 (木) ~ 25 (日) 24 (土)	京都会議/京都 総会
3月	22 (日)	総会/横浜
7月	3 (金) ~ 10 (金) (仮) 18 (土) ~ 19 (日)	国際アカデミー/東京 サマーコンファレンス/横浜
9月	24 (木) ~ 27 (日) 26 (土)	全国大会/八戸 総会

関東地区主要事業

4月	12日 (日)	関東地区フォーラム
7月	4日 (土)・5日 (日)	関東地区大会
11月	14日 (土)	ありがとう関東地区

東京ブロック主要事業

1月	12 (月)	賀詞交歓会
2月	11 (水)	アカデミー開校式
6月	7 (日) 28日 (日)	ブロック大会/町田 わんぱく相撲東京都大会/日野
10月	26 (月)	フェアウェルパーティ

諸般の事情により、スケジュールが変更となることもございます。会場等詳細については、公式HP、公式facebookにてご確認ください。